



みやぎアピール大行動2022 実行委員会

News

発行／みやぎアピール大行動実行委員会事務局
メール：appeal318@hotmail.co.jp

2022.10.14. FRI No.24

アピール大行動2022を終えて

代表 すみ としお

16回目を迎えた宮城アピール大集会・大行動は、9月18日エルパーク仙台ギャラリーホールを会場に行われました。当日は台風の影響が心配されましたが、なんとか曇り空であり影響を受けずに、集会参加者120名大行進を50名が参加し行われました。

今回は、～いのちを分けない社会へ～障害者差別と優生保護法～をテーマに、自ら視覚障害者と女性として受けきた差別の体験から、障害女性の複合差別解消と強制不妊手術問題に取り組んでいる藤原久美子さんを講師にお招きし、実体験を通して受けた複合差別の実態と、差別解消のための活動・取り組み、優生保護法国家賠償訴訟裁判の支援活動等についてお話を頂き、続いて優生関係からお二人のゲストスピーカーの方から発言をいただきました。

お一人は裁判の原告、飯塚淳子さん（仮名）です。飯塚さんは16歳の時に何の説明もなく優生手術を受けさせられ、幸せな結婚や子供という夢を奪われ、人生を大きく狂わされたと…。

そして飯塚さんは2018年に訴訟まで、たどり着くまで長い時間を要してしまったのです。ようやく飯塚さんの頑張りが実を結び訴訟も各地に広がり、社会問題として認知され支援の輪がひろがってきています。広がりの一つとして、今回もう一人のゲストスピーカーの池澤さんたち学生が立ち上げた「強制不妊手術不当判決にとも向き合うプロジェクト」です。

独自に署名活動を行ったり、この夏に全国の支援組織として「優生保護法問題の全面解決をめざす全国連絡会（優生連）の事務局に携わり、支援活動を支えています。そして優生思想がどんな悲劇を生んできたか歴史を紐解くまでもありません。それを国が率先して行ってきたのですから、国は被害者に対して全面謝罪と補償を一刻も早く実現するよう力を合わせていきたいと強く思っています。

そしてリレートークでは4人の方がそれぞれの立場から医療的ケア、聴覚障害者の情報保障（選挙権行使に関わること等）、病院統合問題に対する発言がありました。どれも極めて重要な問題です。私たち抜きに私たちの事をきめるな!!をモットーにこれからも、ここ宮城の地から、みんなの力を合わせ住みよい宮城して行くために運動を積み重ねて行きましょう。（楽しくネ。）